

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地歴公民 科目 世界史探究

教科: 地理歴史 科目: 世界史探究 単位数: 単位 2
 対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組
 教科担当者: (1組:加沼) (2組:加沼) (3組:加沼) (4組:加沼) (5組:加沼) (6組:加沼)
 使用教科書: (世界史探究 (山川出版社))

- 教科 地理歴史 の目標:
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究	の目標:
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、よりよい社会の現実を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数
◎自然環境と人々の関係を視点にして、人類の歴史を探究する。 ◎日常生活から見る世界の歴史という観点から、特に世界各地の料理に注目し、その世界の歴史的背景について探究する。 ◎農耕と牧畜の社会的影響を分析し、支配観念(王権)の成立要因を探究する。	世界史へのまなざし①② 第1部 諸地域の歴史的形質の形成 1 文明の成立と古代文明	◎現在と異なる過去や現在と結びつくかこについて探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。 ◎第1部にかかわる諸事象について、課題意識や見通しをもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	2
◎騎馬遊牧民が形成・発展させた国家や社会を探究する。 ◎秦漢の皇帝が形成・発展させた国家や社会を探究する。 ◎北方民族が変化させた中国・社会について探究する。 ◎隋・唐が形成した国家・社会、国際関係について探究する。 ◎仏教の南アジア諸国への受容とその受容による文化・思想の変化を探究する。	2 中央ユーラシアと東アジア世界 3 南アジア世界と東南アジア世界の展開		○	○	○	1
◎西アジアにおいて、イラン系の人々が形成した国家・社会文化について探究する。 ◎地中海において、ギリシア人が形成した国家・社会・文化について探究する。 ◎地中海を支配したローマ人が形成した社会・文化について探究する。 ◎キリスト教が広がったローマ社会の特色について探究する。 ◎イスラーム教の誕生と、その領域拡大の状況を分析し、イスラーム教が社会をどのように変えたのか探究する。	4 西アジアと地中海周辺の世界の形成 5 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成		○	○	○	7
◎イスラーム勢力の西アジア・北アフリカ・イベリア半島への拡大と影響について探究する。 ◎西アジアの王朝の変遷と特徴を分析し、イスラーム教の影響について探究する。 ◎西ヨーロッパ世界におけるローマ=カトリック教会の影響について探究する。 ◎東ヨーロッパ世界の特色を分析し、歴史的意義を探究する。 ◎14世紀以降の西ヨーロッパ世界の変容を分析し、探究する。	第2部諸地域の交流・再編 6 イスラーム教の電波と西アジアの動向 7 ヨーロッパ世界の変容と展開	◎現在と異なる過去や現在と結びつくかこについて探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。 ◎第2部にかかわる諸事象について、課題意識や見通しをもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
◎宋とアジア諸地域のつながりや影響を分析し、宋の東アジアにおける影響力について探究する。 ◎モンゴル帝国の拡大と影響について分析し、モンゴル帝国の歴史的意義を探究する。	8 東アジア世界の展開とモンゴル帝国		○	○	○	1

	<p>◎東アジアや東南アジアに樹立された国家の特徴を分析し、明との関連性について探究する。◎ポルトガルとスペインを軸にヨーロッパの海外進出を分析し、「世界の一体化」へつながる状況を探査する。◎オスマン帝国の領域拡大の経緯を分析し、どのような統治がおこなわれたか、その実態と影響を探究する。◎清朝の漢民族への統治政策を分析し、その目的と特徴を理解する。</p>	<p>9 大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄</p> <p>10</p>		○	○	○	1
2 学 期	<p>◎14世紀にイタリアでおこったルネサンス運動の特徴を分析し、ルネサンス運動の意義について探究する。◎宗教改革の特色と影響を分析し、その後のカトリック改革や宗教対立の内容について探究する。◎主権国家体制の特色と成立について分析するとともに絶対王政の存在意義について探究する。◎産業革命の特色と産業革命を可能にした条件を分析し、産業革命が与えた影響を探究する。◎アメリカの独立と発展の特色を分析し、アメリカの独立の意義を探究する。◎フランス革命とナポレオン戦争の支配の経過を分析し、フランス革命とナポレオンの支配の意義を探究する。</p>	<p>11近世ヨーロッパ世界の動向 3部諸地域の結合・変容 12産業革命と環大西洋革命</p> <p>第</p>	<p>◎現在と異なる過去や現在と結びつくかこについて探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。◎第3部にかかわる諸事象について、課題意識や見直しをもって学習に取り組んでいる。</p>	○	○	○	9
	<p>◎19世紀前半のヨーロッパの国際秩序を規定した、ウィーン体制の構築と解体を探究する。◎領土を拡大し、南北戦争を経て世界最大の工業国となったアメリカ合衆国の発展を探究する。◎領土を拡大し、南北戦争を経て世界最大の工業国となった、アメリカ合衆国の発展を探究する。◎諸民族の自立によるオスマン帝国の動揺と列強の勢力拡大で、西アジアがどのように変化したかを探究する。◎欧米諸国の開国要求に対する清朝・日本・朝鮮各国の対応と、その後の東アジアの国際関係を探究する。</p>	<p>13イギリスの優位と欧米国民国家の形成 14ア ジア諸地域の動揺</p>		○	○	○	9
	<p>◎第二次産業革命とその影響、列強がアジア・アフリカに展開した帝国主義的政策と、国内の状況を探査する。◎清朝の改革の失敗と中華民国の建国・インド・東南アジア・西アジアの民族運動の展開を探究する。◎第一次世界大戦後に作られた新しい秩序と、大戦後の欧米諸国でおこった変化を探究する。</p>	<p>15帝国主義とアジア民族運動 第一次世界大戦と世界の変容</p> <p>16</p>		○	○	○	1
	<p>◎世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊を分析し、世界恐慌がヴェルサイユ体制の崩壊をもたらした過程を探究する。◎新しい国家秩序の形成について特色を分析し、戦後の国際秩序の意義を探究する。</p>	<p>17第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p>		○	○	○	1
3 学 期	<p>◎冷戦の展開について分析し、どのような影響を与えたか探究する。◎冷戦体制の動揺について特色を分析し、冷戦体制が動揺した背景や意義について探究する。</p>	<p>18冷戦と第三世界の台頭</p>		○	○	○	8
	<p>◎1970年代の世界経済の転機が、どのようにして始まったのかを探究する。◎冷戦終</p>	<p>19冷戦の終結と今日の世界</p>					2

結後、世界の諸地域はどのように変容し、どのような課題を抱えているかを探究する。 ◎現代社会において変化を遂げてきた人々の世界観や生活のありようを探究する。							合計
			○	○	○		60